

第 118 回 光応用・視覚技術委員会議事録

平成 20 年 10 月 10 日

光応用・視覚技術委員会

委員長 亀井宏行

日時：平成 20 年 7 月 25 日（金）14：00～17：00

場所：日本交通協会第 1 会議室

出席者：高橋委員長、板倉、亀井、篠田、関根、中瀬、綱脇、神藤各委員、
君島、木下各幹事

配布資料

- No.118-01 第 117 回光応用・視覚技術委員会議事録（案）
- No.118-02 第 75 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録
- No.118-03 安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会解散報告書
- No.118-04 赤外線・テラヘルツ波将来技術調査専門委員会設置趣意書
- No.118-05 赤外線・テラヘルツ波将来技術調査専門委員会委員公募原稿
- No.118-06 電気学会 A 部門誌特集論文記事提案（赤外線技術とその応用）
- No.118-07 第 1 回電気学会次世代光源調査専門委員会議事録
- No.118-08 第 12 回安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会議事録
- No.118-09 光応用・視覚技術委員会活動方針
- No.118-10 光応用・視覚委員会平成 19、20 年度活動計画表
- No.118-11 光応用・視覚技術委員会名簿

議事

1．前回議事録確認

訂正 6 件が承認された。

議事 6 1) 配布資料 No.116-05 No.117-05、2) 配布資料 No.116-06 No.117-06、
3) 配布資料 No.116-07 No.117-07、4) 配布資料 No.116-08 No.117-08、
5) 配布資料 No.116-09 No.117-09

議事 7 配布資料 No.116-11 No.117-11

高橋委員長から議事録記載事項の更新 2 件が報告された。

議事 1 A 部門誌論文特集は 10 月号が 11 月号に変更された。

議事 6 A 部門大会の「光応用・視覚」セッションは「テーマ付」から「一般」に変更された。

2．A 部門研究調査運営委員会報告

高橋委員長から配布資料 No.118-02 に基づき、第 75 回 A 部門研究調査運営委員会および第 76 回 A 部門研究調査運営委員会の報告がされた。

1) A部門委員長の交替について

湯本委員長が退任し、福永香氏（情報通信研究機構）が就任した。

2) 経営会議報告より

電子出版による出版規定が変更され、平成19年10月1日より新制度に移行した。技術報告から単行本出版への変更が容易になった。120周年イベントとして10月17日に記念シンポジウムを開催する。

3) 卓越DB委員会より

平成20年3月で第1次の活動を終了した。英訳作業は確認依頼中。3000件の登録を達成した。

4) 技術報告出版の進捗状況について

「メディアデバイス・視覚システム」と「新しい光源とモデリング」の技術報告書の取り纏め状況を高橋委員が報告した。湯本委員長から、執筆者から報告書原稿への転載許可取得に時間がかかることに注意する必要性を指摘された。

5) リソグラフィ先端技術調査専門委員会の解散について

解散が承認された。解散報告書の原稿を2月までにとりまとめ、3月に学会へ提出する。

6) リソグラフィ極限技術調査専門委員会設置について

前委員会解散と対にして承認された。国プロ等との連携について確認があった。

7) 技術委員会の英語版ホームページについて

英語版作成を各技術委員会に依頼された。EINAに掲載している活動状況の紹介記事をホームページに転用することが了承された。

8) A部門表彰・受賞候補者の推薦について

表彰・受賞候補者の推薦が少ないので各委員会に要請があった。当技術委員会は元委員長の日本大学名誉教授 石井弘允氏を推薦している。

9) 技術報告書のオンデマンド出版について

単行本もオンデマンド出版できるようになる。300～2000冊発行の場合はオンデマンドにする。70ページまでの制約は無くなる。

10) 平成20年度基準認証開発事業について

放電、誘電絶縁材料技術委員会の合同調査専門委員会の活動から、「繰返しインパルスの部分放電計測に関する標準化」の応募が採択され、電気学会としてサポートすることになった。

11) 電気学会創立120周年記念シンポジウムについて

10月17日に東京国際フォーラムで開催する。A部門からの講演内容として当委員会からは「LED照明」を提案した。採択の場合は神野委員から情報提供することになっている。

12) A部門役員会報告より

他学協会との調査専門委員会の合同設置ならびに複数の技術委員会に関わる調査専門委

員会の設置に関わる規定が承認された。

13) 技術委員会のホームページについて

委員会名簿、委員会議事録、調査専門委員会の項目を最低限必要とするコンテンツとして掲載することが確認された。

3. 調査専門委員会の活動報告

1) 安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会解散報告書について (No.118-03)

提出された報告書を修正して運営委員会に提出することになった。

2) 赤外線・テラヘルツ波将来技術調査専門委員会設置趣意書について (No.118-04)

修正と委員の追加を確認した。委員の公募原稿 (No.118-05) も追加する。

3) 特集論文テーマ記事提案について

篠田委員より配布資料 No.118-06 に基づき、特集論文テーマ「赤外線技術とその応用」が説明された。掲載は平成 21 年 11 月号に変更になった。8 月 20 日までに会告原稿を提出し、平成 20 年 11 月号に会告記事が掲載される予定。

4) 神藤委員より、次世代光源調査専門委員会の活動が報告された (No.118-07)

5) 綱脇委員より、安全・安心のための赤外線技術調査専門委員の活動が報告された (No.118-08)

6) 中瀬委員より、リソグラフィ極限技術調査専門委員会の第 1 回委員会を 6 月 20 日に開催した旨報告された。前委員会の技術報告書が完成した旨報告された。

7) 技術報告書の進捗状況について

メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会の報告書は依田委員にも取り纏めを依頼した。新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会の報告書原稿は半分程度に留まっている。神野委員にご努力をお願いしている。

4. 平成 21 年度の活動計画について

配布資料 No.118-10 に基づいて平成 20 年度活動予定を確認した。

5. 委員の交替について

板倉委員 (9 月末)、関根委員 (10 月末) の退任、綱脇委員 (10 月)、高橋委員 (10 月) の 1 号委員就任が了承された。

6. その他

1) 3 月 17 日から 19 日開催の全国大会 (北大) に A 部門からシンポジウムを 4 件開くよう (50 名/1 件) 要請されている。当委員会は 50 人以上の聴衆確保の問題で辞退する。

2) 8 月 21 日の A 部門大会 (千葉工大) のシンポジウムで石井弘允氏の表彰が行われる。

3) 当委員会活動方針 (No.118-09) を A 部門大会で掲示する。修正があれば連絡されたい。

4) A 部門誌 2009 年 2 月号に当委員会からトピックス記事 (英語) を掲載する。EINA 誌 (web)11 月号にも掲載する。原稿 (4 ページまで、図掲載可) を 8 月末までに亀井委員へ提出するよう各調査専門委員会委員長に依頼した。

5) 計測技術委員会との合同研究会を平成 21 年 2 月(宮崎)に開催することが篠田委員から提案され、了承した。

6) 高橋委員長の退任挨拶、亀井次期委員長の就任挨拶があった。

7. 次回委員会について

日時：平成 20 年 10 月 10 日(金) 14:00~17:00

場所：日本交通協会第 1 会議室

記録 木下